

# 会 報

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会  
URL <http://ajgika.ne.jp/~kagoshima/>

## あ い さ つ

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会  
会 長 有村 修次

現学習指導要領の全面実施5年目となりました。各学校では、課題の解決に主体的に取り組み、安心かつ安全な社会を構築していく力を身に付けられるよう、地域や生徒の実態に応じた題材を開発するとともに、指導方法を工夫した3年間の指導計画に基づいた実践に取り組まれていることと思います。

さて、昨年8月に中央教育審議会教育課程企画特別部会の「論点整理」が公表され、子供たちが生きる社会を見据えた上で、そこを生きる子供たちに必要な資質・能力を明確にし、それを育むための方策を検討するという学習指導要領の改定の基本的な考え方が示されました。その中で2030年の社会と、そのさらなる先の豊かな未来を築くために、現代的な課題に即して、これからの時代に求められる人間の在り方として以下の事項が示されています。

- 社会的・職業的に自立した人間として、郷土や我が国が育んできた伝統や文化に立脚した広い視野と深い知識を持ち、理想を実現しようとする高い志や意欲を持って、個性や能力を生かしながら、社会の激しい変化の中でも何が重要かを主体的に判断できる人間であること。
- 他者に対して自分の考え等を根拠とともに明確に説明しながら、対話や議論を通じて多様な相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりし、多様な人々と協働していくことができる人間であること。
- 社会の中で自ら問いを立て、解決方法を探索して計画を実行し、問題を解決に導き新たな価値を創造していくとともに新たな問題の発見・解決につなげていくことのできる人間であること。

本研究会の研究主題は、「学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する力と態度を育む技術・家庭科教育」であり、「自立」、「協働」、「創造」等論点整理におけるこれからの時代に求められる人間の在り方と合致しています。

来年度本県で開催する九州地区研究大会、本年度天保山中学校で開催する県研究大会では、これからの技術・家庭科教育の在り方を示す先進的な取組を紹介できるのではないのでしょうか。

本年度は、九州大会の前年度として県下技術・家庭科担当者のまとまりを作る大切な年です。まずは、各地区の組織を固め、基盤のしっかりした研究会にしていきたいと思います。

## 第65回鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会を迎えて

### 鹿児島地区

#### 1 はじめに

平成28年度鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会を鹿児島地区が担当することとなりました。

今大会では、技術・家庭科の特質を考慮しながら、「学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する力と態度を育む技術・家庭科教育」という観点から、公開授業と研究実践を提案いたします。

大会運営につきましては不十分な点も多いかと思いますが、本地区の技術・家庭科教育の発展にお力添えをいただければ幸いです。多数の参加をお待ちいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 2 研究大会内容について

①日時 平成28年11月9日(水) 9:50~16:25

②会場 鹿児島市立天保山中学校

##### ③研究授業

<技術分野> 授業者 教諭 戸崎 寿彦

授業内容：「A 材料と加工に関する技術」

<家庭分野> 授業者 教諭 西 光乃

授業内容：「C 衣生活・住生活と自立」

##### ④授業研究

<技術分野>

司会 鹿児島市立吉田南中学校 教諭 小野原 雅啓

記録 指宿市立北指宿中学校 教諭 時任 志郎

<家庭分野>

司会 鹿屋市立鹿屋東中学校 教諭 濱田 和美

記録 鹿児島大学教育学部附属中学校

教諭 山口 隼人

##### ⑤研究発表

発表者：鹿児島市立松元中学校 教諭 柿元 慶子

内容：「学びを生かし合い、よりよい生活を創造する力と態度を育む技術・家庭科教育」

発表者：瀬戸内町立古仁屋中学校 教諭 竹下 誠

内容：「主体的・協働的な学びを取り入れた学習指導の工夫～材料と加工に関する技術における設計・構想する場面を通して～」

発表者：出水市立出水中学校 教諭 塗木 里奈

内容：「消費者としての自覚を高め、主体的な消費行動につながる指導の工夫」

## 研究会だより

### 1 研修の様子

今回の夏季研修会は、平成28年8月12日(金)に行いました。技術・家庭科合わせて、約100名の参加をいただきました。午前は、技術分野は、材料と加工の内容について基礎的技能習得を身に付けさせる製作題材を、家庭分野は、株式会社文溪堂クロッサムから講師をお迎えして、基礎縫いを中心にした袋作りを行いました。また、午後からは、文部科学省から上野調査官にお越しいただき、最近の教育の動向について講話をしていただきました。アンケートの内容を参考に、今後、授業で役に立つ研修を企画・運営する上で事前準備をさらに万全におこなっていきたいと思います。

### 2 参加者の感想

- ものづくり大会の様子が分かりイメージが湧いた。
- 教材・教具を準備していただいて大変参考になった。
- 教具・指導法、大変参考になった。
- 今後の授業や創造ものづくりについてとても勉強になった。
- 実際にエネルギー変換で動く物が見られて更にものづくりに興味をもった。
- 業者を招いての製作実習で楽しかった。キット紹介や教材紹介等の情報提供が嬉しかった。
- 教材の良さやポイントがよく分かった。
- 少ない時間でも実習できる方法が分かった。
- アレンジの仕方や生徒に指導する時のポイントを教えてもらえてよかった。
- 研究部の趣旨が分かりやすく説明された。
- 評価について考える機会になった。
- 評価基準と規準の違いを知った。
- 現在、県技・家研の研究部が取り組もうとされていることの概要が分かった。
- 次の改定に向けての内容を知ることができた。
- 技術・家庭科を通してどんな力をつけさせるか、また、力をつけるための方法を考える視点が分かった。
- 大変参考になった。アクティブ・ラーニング等、内容が詳細で分かりやすかった。
- 技術に関する国の考え方が分かってスッキリした。

#### <研修会の様子>



## 総務部

昨年度は、第64回県研究大会(鹿児島地区大会)並びに県作品展が、11月6日に鹿児島市立星峯中学校を会場として行われ、県内の会員、約70名に参加していただきました。内容の濃い研究授業・研究発表・研究協議が展開され、鹿児島地区の先生方に深く感謝申し上げます。

また、第15回ロボコン県大会(吉田北中)、第9回アイデアバックコンテスト県大会、第9回ものづくり競技大会(かごしま文化工芸村)に多くの参加をいただき、盛会のうちに終了することができました。

本年度は、来年度の九州大会を見据えて、第65回県研究大会(鹿児島地区大会)が、11月9日に鹿児島市立天保山中学校で開催されます。例年同様、県内の先生方のご支援、ご指導をよろしくお願い致します。

### お知らせ

- 1 県版学習ノートの採用につきましてはご協力をいただきありがとうございました。
- 2 研究誌「技術・家庭」を毎年発行し、本年が第64号になります。この研究誌は、本県技術・家庭科の先生方の研究を掲載しております。先生方の研究(研究論文)あるいはグループ研究等ございましたら是非掲載にご協力ください。
- 3 第30回 鹿児島県中学校技術・家庭科作品展を11月9日(水) 鹿児島市立天保山中学校にて開催します。授業や長期休業中の生徒・教師作品を多数出品されますようよろしくお願いいたします。
- 4 第10回県中学生ものづくり競技大会を10月15日(土)かごしま文化工芸村で、また、第10回被服部門アイデアバックコンクール県大会を10月22日(土)吉田北中学校で開催します。1月に開催される全国中学生創造ものづくり教育フェアの予選大会ですので、多数の参加をお願いします。
- 5 第16回創造アイデアロボットコンテスト鹿児島県中学生大会が10月22日(土)吉田北中学校(体育館)にて実施されます。本大会を盛り上げるためにも多数の参加をお願いします。
- 6 技能検定を実施しています。詳しくはWebページをご覧ください。

#### <問い合わせ・連絡先>

◆〒892-0817 鹿児島市小川町3番10号  
鹿児島市立長田中学校 吉留 宏実  
TEL (099) 226-3868  
FAX (099) 226-3869  
Email tomekg32na76@yahoo.co.jp